



特定非営利活動法人



<http://nepal-mika.jp>

平成 29 年 年末号 NO.59

# ネパール・ミカの会

平成 29 年 12 月 01 日発行 194-0035 東京都町田市忠生 2-5-36 tel042-791-0602



## 「努力した人には 偶然という橋をかけてくれる」

NPO 法人ネパール・ミカの会 理事長 齋藤 謹也

京都、梅尾、高山寺、鳥獣人物戯画で著名な寺。そして、生涯夢を見続けた名僧・明恵上人の寺院です。時々思い起こすのは、50 年ほど前、随筆家白洲正子さんたちの文人グループが熱っぽく「夢の記」などを紹介していたことが頭をよぎります。

釈尊誕生地にあこがれて行程表まで作り船で旅立とうと夢想したことや、その海岸で拾った小石をインドから流れ着いたものとして生涯護持し続けた事などが書かれてありました。

さて鎌倉初期から 800 年。私達は一日で釈尊生誕地ルンビニに行けます。子ども達にささやかな校舎であっても教育機会を提供し続けた 20 年は貴重な縁（えにし）であったと思います。

思い付きのネパール遊行で立ち寄った小学校、そこにいた子供たちの好奇心にあふれた瞳に魅せられて始まった「ミカの会」。「努力した人には偶然という橋をかけてくれる」という言葉がありましたが、偶然が必然となり「心地良い」幸せを得ることができているように感じます。

何歳から高齢というのかはわかりませんが、夢を見続けているだけ、生きましょう！

あしたも良い一日を。平成 30 年も良い年を。

## 「平成 28 年度定期総会開催」

副理事長 加藤 誠一

5 月 20 日（土）町田市民フォーラムにて町田市副議長・殿村健一様、国際ソプロチミスト町田一さつき岡山佳恵会長様の臨席を賜り平成 28 年度定期総会が開催されました。

松瀬理事の議長のもとスムーズに全議案が承認されました。今年度は役員改選の年にあたり、今村副理事長、浜崎監事が退任されました。

ラマ理事からネパールの近況、第 19 次ネパール教育支援の様子が報告されました。その後移動してネパールレストラン「ソルティーモード」で懇親会。和やかに懇親会を終了致しました。

長年副理事長として役員を務めて頂いた今村さんには役員退任に当たり改めて感謝申し上げます。



## 「世界で一番美しい村・上映会のお知らせ」

ミカの会ではじめての試みとして行うチャリティ上映会のご案内です。

タイトル「世界で一番美しい村」は町田市在住の写真家 石川 梵氏が監督を務めて制作された大変美しい映画です。

2015 年ネパール大地震の被災村が、幾多の困難を乗り越え村民の絆によって美しい村に生まれ変わり、また一人の少年がこの絆を通して素朴ながら成長していきます。

ネパールにはこのような少年・少女が多くいます。この子供たちの成長にちょっと手をさしのべて上げようではありませんか？

2018 年 1 月 25 日（木） 午後 1 時 30 分開場 2 時上映

会場：町田市民フォーラム・3F ホール

入場料：前売り ¥1,000 当日券 ¥1,200 高校生以下 ¥500

詳細はチラシを同封いたしますのでご覧ください。

前売り券のお求めは、お近くのミカの会理事 あるいは、加藤 (090-7268-0502) までご連絡ください。

## 「12 月移動例会のお誘い」

恒例の移動例会を下記のように開催いたしますので、是非ご参加ください。

2017 年 12 月 16 日（土） 午後 3 時 30 分～午後 6 時

会場：CONA 町田店 小田急線町田駅南口徒歩 1 分

会費：¥4,000 飲放題

<https://conamachida.owst.jp/> 042-860-6997

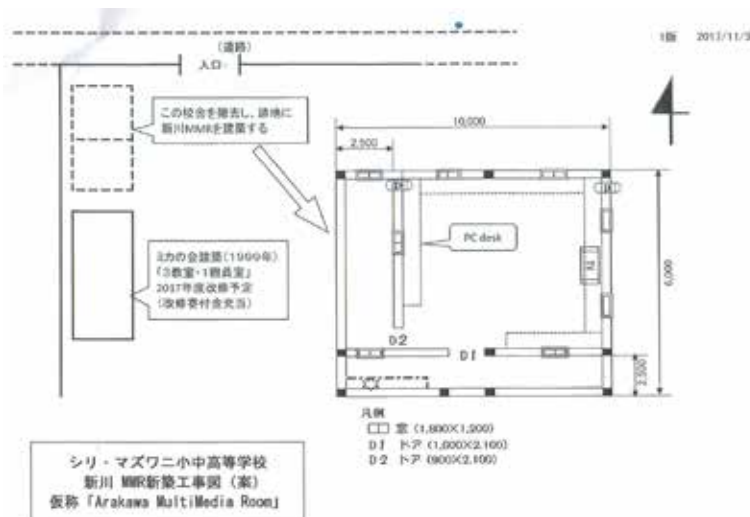


## 「新川 MMR（仮称：Multi Media Room）建築及び老朽校舎改修について」

西澤 忠

新川基金はネパール国の「10+2（高等学校）」に対応する校舎建築のために設けられたものであるが、ネパール国の教育制度がはっきりしないまま今日に至っていた。昨年 新憲法が施行され、各学校とも新教育制度に従って設備や体制を整備することが必要となっている。特に高等学校（High School）では専門科目を履修するために、IT(パソコン・ランなど)を導入しようとしている学校が増えている。

以上のような状況（ニーズ）の変化に伴い、現地責任者、学校側及び出資者とも調整の結果、理事会において新川基金で IT によって学習ができる環境を整えた校舎を新築することに決定した。そして場所はネパール・ミカの会が小学校から高校まで一貫して建築してきた“シリ・マズワニ高校”の敷地に、仮称「新川 MMR（Multi Media Room）」を今年度中の開校を目的に施工することとした。来春からシリ・マズワニ高校の 11 年・12 年生はこの教室で専門科目を習得して、高いスキルを持って巣立って欲しいものと期待する。



仮称「新川 MMR」構想図



現在のシリ・マズワニ小学校

また、この校舎建築と並行して、1999 年に国際ボランティア貯金の助成金で、ネパール・ミカの会が最初に建築したシリ・マズワニ小学校の校舎が老朽化したので、改修工事をするにしました。この資金は現在皆様をお願いしている『校舎修理募金』を充当することとした。改修が出来た暁には子供たちが安心して勉強できるように環境が整備されます。会員の皆さん始め、多くの方がたのぞ支援・ご協力に感謝致します。

更に今後老朽校舎改修・補修工事は、必要に応じてゆうちょ財団などの助成金も受けられるよう計画していきます。

### 「老朽校舎修復募金の経過報告」

会計 松浦 陽子

思えばネパール・ミカの会も昨年、発足から 20 周年を迎え、それに伴ってルンビニ地区の主な建設支援校も、あちこち傷みが目立つ様になって来ました。昨年は予算を立ててシリ・シリ・ラム校 1 校を何とか修復致しましたが、今のミカの会の財務事情では他の多くの支援校の修復まで、到底及びません。

そこで誠に申し訳なくは存じますが、会員の皆様や日頃ミカの会の活動にご理解を頂いている支援者の方々、そしてホームページでも広く多くの人達に呼び掛けて、「老朽校舎修復募金」の協力をお願いすることになり、本年 5 月より募金目標 50 万円を掲げ、募金を開始しました。

お陰さまを持ちまして、29 年 11 月 18 日現在 484,910 円 が集まっております。目標額まであと一歩のところでございます。ネパールの子ども達の真っ直ぐな輝く瞳や笑顔を思い描いて頂き、今後ともどうぞご協力をお願い致します。

### 「第 20 次ネパール教育支援の旅のお知らせとお誘い」

今回の支援の旅ではシンガポールで 1 日観光をしてからネパールに入ります。ネパールでの支援の旅と共に楽しんで頂ければ幸いです。現在斉藤理事長はじめ 12 名参加希望者がおります。是非ご一緒して頂き支援の旅を有意義なものとしましょう。

25 日出国、シンガポール 1 泊・27 日ネパール入国、ルンビニ 3 泊・タンセン 1 泊・カトマンドゥ 2 泊

実施期間：2018 年 2 月 25 日（日）～3 月 6 日（火） 10 日間

概算費用：約 ¥270,000 往復運賃・ネパール国内線・現地交通費・宿泊・食事代を含みます。

行程表やビザの申請など必要なことは後日連絡させていただきます。現在航空券の手配中です。しばらくお待ちください。

尚、ネパール延泊など希望があれば承ります。現在トレッキングで延泊希望の会員がおります。加藤副理事長まで

## 2017年の主な活動（総会以後）

- ・5月20日 定期総会
- ・5月24.25日 ラマさん懇親旅行
- ・5月27日 日ネ協会総会
- ・6月1日 ネパール料理ラマさん講習会
- ・7月15日 ネパール料理移動例会
- ・9月3日 フェスタ栄通り
- ・9月10日 フェスタ町田
- ・10月1日 相模原国際交流フェスタ
- ・10月7日-8日 大道芸
- ・10月25日 在日ネパール大使歓迎会
- ・11月3日 第20回夢広場

ラマさんによる地震支援学校

TV・DVDplayer・ソーラーシステム設置



12月1日金曜日、南町田駅近くに、ネパール雑貨と紅茶の店、Shantea をOPENいたします。どうぞ宜しくお願い致します。 武 五月



## 「新会員紹介」

アチャリヤ・麻理

3年前、フェスタ栄通りで購入させていただいた太陽光で発電するライトをお土産に、結婚式のためにネパールに行きました。

初めてのネパール。カトマンズで国内線に乗り換える際に出会った、電線をゆうゆうとあるくおサルさんは私に不安よりも「この国はなにやら面白そう」という印象を与えてくれました。バイラワ空港に着くと、そのままお寺に直行。結婚式とパーティがありました。

お兄さん、お姉さん、おばさん、おじさん、父方母方で違う呼称は、おじさんおばさんだけで済んでいた核家族育ちの私には新鮮で、ミカの会の太陽光発電のランプは話のネタになってくれました。

たくさんの親戚が海外にいて、家族の集まりには参加できないということも聞き、ネパールの人たちが海外に出稼ぎに行かなくても自国で不自由のない生活を送ることができ、子供たちは十分な教育が受けられる、そんな日が早く来るよう何かできないかなと思いました。

ミカの会の活動を通して、ネパールのために役に立てたらと思っています。

ネパールでは、若い世代とお話するのは英語で十分でしたが、お年寄りとは片言のヒンディを駆使しても話せることに限界がありました。帰国してから、ジギャン・タパさんと奥様のエソダ・バスネットさんからネパール語を習い始め現在も勉強を続けています。

ミカの会のホームページを拝見していたら、偶然にもジギャンさんの写真を発見し、ご縁を感じている今日この頃です。

アチャリヤ・ディパス

私は2007年ごろに日本にやってきました。エンジニアとして色々な会社で仕事しました。

神様のおかげで優しい日本人女性と出会いました。その後、結婚し3年前町田に引っ越ししました。

2014年の「フェスタ栄通り」と言う祭りで、初めてネパール・ミカの会と出会いました。

偶然ながら、みなさんは僕の故郷近くの場所ルンビニ、タンセン（僕が生まれたところ）などを中心に活動をしていることを知り、嬉しかったです。私は入会することを決めました。しかしながら、その後そのまま3年も経ってしまいました。

自分が住んでる場所近くに自分の国のためボランティア活動する方々が一所懸命頑張ってるのに、自分は何やってるんだと思いました。

そして、また今年の「フェスタ栄通り」に行き、みなさんと会いました。みなさんが楽しく頑張ってる姿を見て感動しました。そのあとの「フェスタまちだ」でみなさんと一緒に綿菓子を作りました。とても楽しかったです。

そして、やっと今年の文化の日に妻と一緒に入会することができました。振り返ってみるともっと前に入会するべきだったと思います。

仕事柄、例会やイベントなどに出席できない時もありますが、出席するときはしっかり参加し、みなさんと一緒に楽しくボランティア活動をしていきたいと思っています。

どうぞよろしく願いいたします。

## 「ネパール便り」

加藤 誠一

ネパールのラマ理事からの報告です。

ネパール大地震の最終の支援となりました。ラマさんの故郷の小学校にTV、DVDplayerそしてソーラーシステムのプレゼントです。支援校はカトマンズから車で13時間その後は徒歩で数時間。物資の運搬だけでも重労働です。村人の協力が無いと難しい支援です。費用削減のためにソーラーシステムの配線はラマさん自ら行ったそうです。何しろ部品一つないと何時間も歩かなければなりませんのでラマさんも緊張したそうです。

Shree Saraswati Basic School Solududhkunda, Kunikhop

西澤理事の尽力で一般財団法人ゆうちょ財団・国際ボランティア支援事業部「NGO 海外援助活動助成」の申請をいたしました。

ラマ理事には新川 MMR 新設と同時にシリ・ルンビニ校とシリ・ヤトラハ校の修繕検証の為にルンビニまで数日泊まり込みでの調査を依頼いたしました。



制服支援を予定しているマヤデビー小学校の子供達です。



### 【編集後記】

早いもので年末号です。29年度の事業の様子はHPで紹介しておりますので是非ご覧ください。

懸案であった新川会員の寄付による校舎建設も間もなく着工する運びとなりました。校舎の修繕も進んでいます。

どの団体でも高齢化が問題視されており、会員数の減少などが進んでいます。我が会も同じ問題を抱えています。そこは英知を持って解決していかなくてはなりません。

ネパールの教育支援は義務ではありません。その時々々の心ある会員によって支えられてきました。いつもいつも全力でなく、たまにはのんびり進めることも必要かと思えます。

と言っても現実にはエネルギーに活動が継続しています。子供達の笑顔を楽しみに活動を続けて行きます。

seiichi kato